



自由闊達な雰囲気のもと、理魂文才型の人材を育成

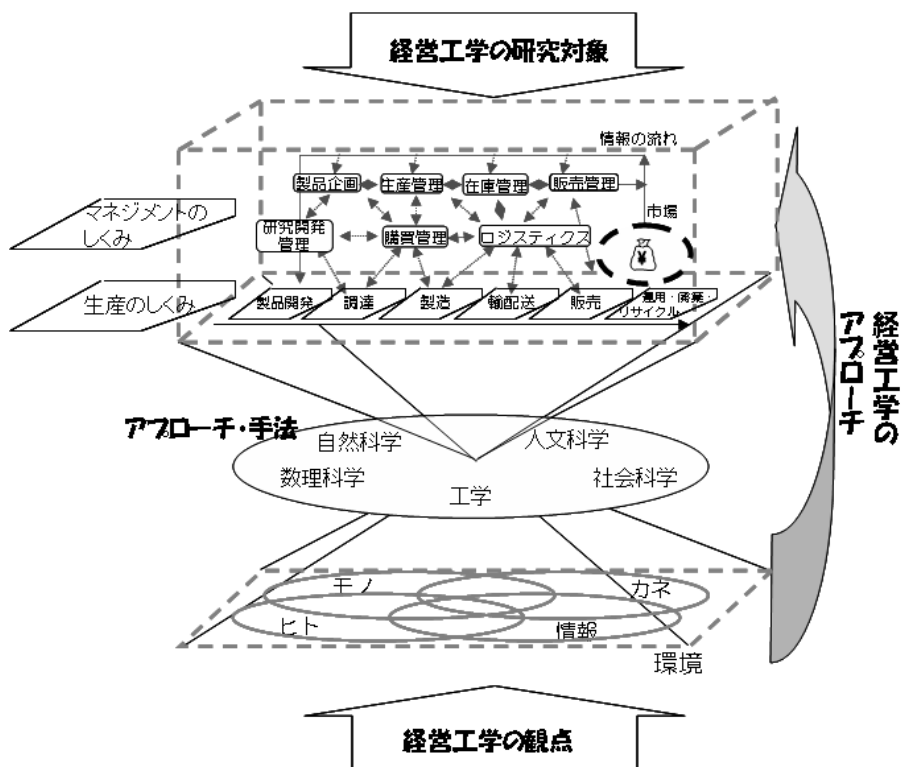
Department of Industrial Engineering and Management
Graduate School of Decision Science and Technology
Tokyo Institute of Technology

2011

**東京工業大学
大学院社会理工学研究科
経営工学専攻**



経営工学の世界的拠点として 問題発見と問題解決のプロを育成します



経営工学とは何でしょう

経営工学は、技術を活かす技術 (technology on technology)です。変化への対応が求められている現在の組織マネジメントにおいて、技術の利活用によって経営資源の望ましい配分を図り、問題発見と問題解決をめざします。

経営工学専攻のMission & Objectivesは何でしょう

経営工学専攻のミッションは、技術の利活用により経営資源の望ましい配分を図り、問題発見と問題解決を行うことのできる人材の育成、研究、社会還元です。

そのために、最高の研究陣、豊富な学内リソース、そして自由闊達な雰囲気のもとで、問題発見と問題解決のプロとしての理魂文才型の人材を育成します。

経営工学専攻のカリキュラムはどうなっているのでしょうか

ビジネス、IEと管理技法、数理と情報、MOT、科学・技術・社会を中心として構成される授業科目のほか、研究室単位で様々な教育が行われています。この他、本学学部、社会理工学研究科の他の専攻、あるいは他研究科、一橋大学、東京大学、慶応大学などの授業科目も履修することができます。



修士課程1年生の必修科目
となっている経営工学輪講

教員、院生、学生、OB・OGが
混ざった懇親会



経営工学専攻にはどのような特色があるのでしょうか

☆概要

経営工学専攻は、昭和38年に理工学研究科の一専攻として設置され、大学院重点化に伴い、平成8年度から社会理工学研究科に移行しました。設置以来、現在までに修士課程、博士課程合わせて、900名あまりの研究者や実務家を輩出しております。また、国際的にも高い評価を受け、世界中の様々な国から多くの留学生が学んでいます。

☆グローバルスタンダードなカリキュラム

経営工学コアとビジネスコアのいずれについても、世界的に有数の拠点校である、MIT、スタンフォード大、アリゾナ大、テキサス大、などのカリキュラムでカバーしている授業科目が提供されています。また、わが国独自の教育方法である、研究室ごとの輪講を通じて、きめ細やかな教育が行われています。どの学年も、2名から3名を指導教員一人が担当します。

☆施設・設備

学部学生用のコンピュータールーム、専攻図書室、ゼミ室、各研究室には一人一台のPCが用意されています。



専攻図書室



コンピュータールーム

☆連携

わが国を代表する経営工学のCOEとして、E-JUST(エジプトー日本科学技術大学)の経営工学専攻運営の支援をしています。

また早稲田大学、慶応義塾大学、東京理科大学などの経営工学関連専攻との連携だけでなく、一橋大学の商学部とは学部を基礎とする四大学連合の複合領域「技術と経営コース」にもとづいた連携を図っています。

さらに、東アジアの拠点校である、中国の清華大学（北京）との合同プログラム『社会理工学コース』も設置しています。また、経営工学専攻はそれに先立ち、2001年9月に清華大学科学技術社会研究センターと研究教育交流協定を結び、科学史、技術史、科学技術政策などの分野で、情報の交換や教員相互の交流、大学院生の指導援助などを進めています。



Jyväskylä 大学（フィンランド）サマースクールへの参加およびÉcole des Ponts ParisTech（フランス）でのダブルデグリー取得も可能です。

☆OB会「経友会」

工学部経営システム工学科と本専攻の卒業生によって、「経友会」が構成されています。横のつながりだけではなく、60年以上の歴史を持つ縦のつながりを活かす場として、活発な活動が行われています。

どうすればこの専攻に入れるのでしょうか

☆修士課程

修士課程への入学時期は、4月と10月の年2回あります。入学試験は、7月から8月にかけて行われます。留学生には、国際コースも用意されています。

筆頭試験専門科目は、経営工学専攻の出題する問題だけでなく、他専攻が出題する専門科目も選択することができます。経営工学専攻が出題する専門科目は、受験生の志望する教員に応じて、A, B2つのコースに分かれています。

Aコースでは、基礎数学（解析学の基礎、線形代数の基礎、数理工学および確率・統計）を必修とし、以下の8科目から4科目を選択します。

- ・品質管理
- ・生産管理
- ・IE・人間工学
- ・経営管理論・組織論・マーケティング
- ・会計・財務
- ・経済学・技術経済
- ・OR
- ・システムと情報

技術構造分析講座の教員を志望するものを対象とするBコースでは、論述または基礎数学のいずれかを選択し、科学史、科学論、技術史、技術論、科学方法、論理の6科目から4科目を選択します。

留学生には、国際コースも用意されています。詳細は大学、または専攻のホームページ、募集要項をご参照下さい。

英語については、TOEFL (Paper, iBT)またはTOEICの成績証明書の提出により、英語の筆頭試験成績に換算し、筆頭試験は行いません。詳しくは募集要項をご参照ください。

なお、規定の条件を満たした成績優秀者は、修士課程を短縮修了することができます。また、修士・博士一貫コースも開設されています。

☆博士課程

博士課程への入学時期も同様に、4月と10月の年2回あります。入学試験は、8月と2月に行われます。口頭試問では、修士論文の内容と研究計画についてのプレゼンテーションと質疑を行います。英語の外部テストの成績証明の提出も必要です（修士課程の項と同じ）。

経営工学専攻の専門科目にはこのようなものがあります

科目区分	前期	後期
ビジネス	年金数理 流通論 生涯設計のためのリスク管理と労働福祉第一	(英) ICTによる変革のマネジメント 会計情報と資本市場 英 マーケティング マネジメント特論 英 経営戦略コロキウム 生涯設計のためのリスク管理と労働福祉第二
IEと管理技法	オペレーションズマネジメント 英 デザイン思考	プロセス・マネジメント 英 組織・システム設計の人間工学 社会理工学プロジェクトマネジメント
数理と情報	応用統計解析 数値的最適化特論 (英) ビジネス情報システムプロジェクト	数理計画法特論 英 IT Value in Practice 数理論理学特論
MOT	事業創出論	英 横断型分野協同プラクティス
イノベーション・マネジメント研究科の科目	IPマネジメント 知的財産権法 金融工学 技術経営概論 知的財産権侵害実務	(英) R&D戦略と知的財産戦略 実践知的財産保護 企業経営における知的財産活動 コーポレートファイナンス 技術戦略論
科学・技術・社会	英 比較科学史特論 英 論理・科学方法論 科学史技術史科学方法論Ⅰ,Ⅲ 科学・技術と現代社会特論 グローバルCOEエネルギー科学技術社会論Ⅰ	科学史技術史科学方法論Ⅱ,Ⅳ 科学社会史特論 科学・技術・社会特論Ⅰ,Ⅱ グローバルCOEエネルギー科学技術社会論Ⅱ
講究・演習・実験	輪講・講究・演習・実験	

英は、英語で開講されている科目、(英)は、隔年で英語で開講されている科目です。

修士課程に入るとどのような一日を過ごすのでしょうか

8:00 起床。朝食をとり、支度を済ませ、電車で揺られながら大学へ。

10:40 3・4限の講義は、「技術革新論」
技術革新について。企業を中心とした技術革新について、経済発展との関係から学ぶ。

12:30 昼休み

石川台から西9号館に引っ越して、食べに行くのも便利になった。残った時間で僕が幹事を務めるゼミ合宿のスケジュール案を作成。

13:20 5・6限の講義は、「オペレーションズ・マネジメント」

TOC(制約理論)について。学部時代に学んだ関連事項を思い出ししながら、具体的な手法や最近のトレンドを再整理。

15:00 M1を対象のゼミ

方法論に関する文献を読み、前日深夜に完成したレジュメをもとに、指導教員、僕以外の同期2人とディスカッション。テキストの内容をもとに身近な例で理論構築をするのが次回の課題に。

17:00 研究室のプロジェクト打合せ

「チケット販売業界」の分析を通して、学部4年生に経営戦略論を教えるのが僕の役割。テキストの内容を理解しているかを確認し、3週間後に控えた合宿での最終発表に向けて計画を練る。

18:00 木曜のゼミの支度

ケースを読む。座って読んでいると、強烈な眠気が襲ってきたので、帰りの電車で立ちながら読むことに。

19:00 大学を出る

20:30 帰宅

24:00 就寝。明日も午前には輪講があるから早起き。



修了したらどのような仕事に就くのでしょうか

経営工学専攻は、日本の代表的な企業、組織の
ほぼすべてに優秀な人材を供給しています

大学・研究所・官庁など

東京工業大学 東京大学 大阪大学 筑波大学 電気通信大学 早稲田大学
慶応義塾大学 東京理科大学 中央大学 財務省 厚生労働省 国土交通省
防衛省 日本銀行 など

電気・通信・情報関係

NTT NTTドコモ 東芝 日立製作所 松下電器産業 ソニー シャープ
日本電気 富士通 日本IBM マイクロソフト NTTデータ など

機械・自動車関係

トヨタ自動車 本田技研 日産自動車 マツダ 三菱重工業 キヤノン リコー
村田製作所 富士ゼロックス など

鉄・非鉄関係

新日本製鉄 住友金属工業 神戸製鋼所 日本鉱業 古川電機工業 など

化学・食品関係

ブリヂストン 味の素 富士写真フイルム アサヒビール 東レ 旭化成
三共 花王 資生堂 サントリー 大日本印刷 など

建設・電力・運輸関係

鹿島建設 日揮 千代田化工建設 東洋エンジニアリング 電力中央研究所
東京ガス JR東海 JR東日本 など

金融・商社関係

国際協力銀行 みずほフィナンシャルグループ 三菱信託銀行 三井住友銀行
ゆうちょ銀行 ゴールドマン・サックス・ジャパン 野村證券 松井証券
みずほコーポレート銀行 大和住銀投信投資顧問 三井住友アセットマネジメント
三菱UFJ投信 日本生命 第一生命 三井住友海上 三井物産 伊藤忠商事
三菱商事 など

コンサルティング・その他

日本経済新聞社 読売新聞社 毎日新聞社 三菱総合研究所 野村総合研究所
日本総合研究所 大和総合研究所 博報堂 電通 日本アーンスト&ヤング
アクセンチュア マッキンゼー IBMビジネスコンサルティング
郵便事業 郵便局 など

理魂文才を身につけた先輩たちから一言



NECパーソナルプロダクツ株式会社 執行役員
安達 俊行氏 (昭和52年卒, 昭和54年修士修了,
平成6年論文博士)

“研究や工場実習に”, “宴会や野球に”と楽しんだ学部4年から修士の3年間の思い出が鮮明に残っています。今でも経営工学を専攻してよかったと思っています。バブル経済崩壊後の日本企業は, 改革し続けないと生き残れません。この時必要なのは, 領域に囚われない大きな発想で全体を見通す力です。経営工学の横断的な思考と合致する考え方であり, 現代ほど経営工学が活躍できる時代はないと確信しています。戦略的な発想で, 自信を持って社会の変革をリードする人材を目指して下さい。

経営システム工学は, 東工大の中でもちょっと変り種。泊まり込み実験もなく, 文科系まがいの講義が必修で, かと思うと小難しい数学のゼミが週3回も夜にあったり。でも, この学際的な学問を通じて社会現象を俯瞰的・論理的にとらえる思考訓練をしたことが, 私の現在のキャリアで非常に役立っています。

この学問は「社会」が研究対象。深く理解するために, 自分の研究分野だけでなく, 様々な社会現象に興味を持つバランス感覚も養ってください。



花王株式会社化粧品事業本部
木原雅子氏 (平成4年卒, 平成6年修士修了)



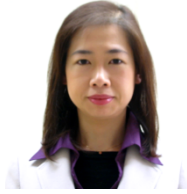
日本銀行調査統計局経済分析担当総括企画役
木村 武氏 (昭和62年卒, 平成元年修士修了, 平成9年博士修了)

大学院時代, 毎週ゼミで先生や同僚と激論を交わし, 研究成果は共著論文として学会誌に掲載されました。その過程で, 自分なりの研究スタイルの土台を構築できたのは, 私にとって, 何よりの宝です。

修士課程修了後, 日本銀行に入行し, 米国連邦準備制度理事会 (FRB) への勤務を経て, 現在, 金融政策の運営や景気判断に携わっています。大学院で学んだ確率・統計や最適化手法は現在の仕事でも非常に役立っています。私の肩書きはエコノミストですが, 東工大仕込みのエンジニア魂は今でも生きていることを自負しています。

専攻教員（兼担はのぞく）

開発・生産流通工学
マーケティング, 流通



鍾 淑玲・准教授

専門分野はマーケティングと流通。私自身は、特に台湾と中国における食品製造業と小売業のマーケティング戦略、流通の近代化・国際化、そして日本の観光地ブランド構築の3つの分野の研究に関心があります。

研究室では、マーケティングと流通の理論と応用全般を研究対象としています。例えば、マーケティングの製品、価格、流通チャネル、プロモーション戦略を掘り下げた理論研究、または、日本や海外市場における企業のマーケティング戦略、およびその比較研究。流通においては、小売業のイノベーションや国際化などの研究。

学生には自ら問題意識を持って、テーマの選定をしてもらいます。国際化社会に備えて、柔軟性と国際観が豊かな人材を育成することを目指しています。

開発・生産流通工学
生産管理, 品質管理,
ロジスティクス



圓川 隆夫・教授

専門分野は、生産と品質のマネジメント。特に生産ではサプライチェーンマネジメント、品質では顧客満足及び新商品開発の観点から、それぞれのパフォーマンスが企業の経営成果にどのように結びつくかのメカニズム、そしてその国際比較を、独自のデータベースを構築しながら進めています。研究室の教育方針は、「着眼大局」を旨とし、常に大局的な観点からの問題認識、問題発見(蝸壺に陥らない)と、経営工学の強みとして統計的、I E的な問題へのアプローチの仕方を強調しています。

開発・生産流通工学
生産管理,
ロジスティクス



鈴木 定省・准教授

専門分野は生産管理とロジスティクス。生産やロジスティクスの範囲は多岐にわたります。研究室では、顧客にとって有用な製品・サービスを生み出すための活動として、開発から生産・物流・販売・廃棄/リサイクルといったサプライチェーンに関する一連のオペレーション（業務）を対象とした研究を行っています。

各自の興味関心を尊重して研究対象を設定し、既往研究のサーベイ等を通じて、問題意識を明確化し、徐々に研究テーマを絞り込んでいく形で研究を進めていきたいと考えています。事象のモデル化や統計的手法といった経営工学的アプローチの強みを活かし、問題発見から問題解決に至る能力を研究室生活を通して共に高めつつ、充実した学生生活を過ごしましょう。

開発・生産流通工学
人間工学, 安全工学,
認知工学



伊藤 謙治・教授

伊藤研の目標として、現実の社会や組織で役に立つ、問題オリエンティッドな方法論・技術を創出することを目指しています。現在我々が行っている研究は、医療、あるいは鉄道の分野を対象としていることが多いのですが、その適用対象はどこでも構いません。また、研究の多くは、ヒューマン・エラー解析を含んだリスク管理の問題であったり、ユーザビリティの向上を目指したインタフェース設計・評価の問題、身障者向けのインタフェースの開発、あるいは認知作業を詳細に分析することによるシステム・製品設計への応用などですが、何をやっても構いません。

大事なことは、自分の興味を持っている分野で、社会に貢献しているという自覚（自信）をもって、自分が主体となって現実の難しい問題にどんどんチャレンジしていくことだと思っています。

開発・生産流通工学
人間工学, 認知工学



青木 洋貴・准教授

現場をしっかり見て「観察する」というIE (Industrial Engineering: 経営工学)の考え方を大事にしなが、ひとの活動に関連する問題を扱っていきたくと思っています。研究室には、ひとを測るための、ストップウォッチ、ビデオカメラ、アイトラッカー、心拍計等の機器があります。皆さんはこれまで学部で講義の中で様々なアプローチ方法についても勉強し、それらを頭の中に貴重な知識という形で持っていると思います。これらのすべての持てる「資源」をフルに活用して、オモシロいことを一緒に考え形にしていきたい。研究室での皆さんの一挙手一投足、思いつき、そしてすべての活動を通して、研究室の歴史を、一緒に作っていきましょう。

開発・生産流通工学
プロセス管理, プロ
セス工学



村木 正昭・教授

村木研では、「如何によい製品・設備をつくり、これを如何にうまく使うか」ということを念頭に、生産設備の企画・設計から運用・廃棄にいたるプラントライフサイクル、および資源採取から廃棄・リサイクルをふくむプロダクトライフサイクルの観点から、設備管理、生産管理、安全管理、環境管理などにおける種々の問題を対象に研究を進めています。

教育方針は、研究室のゼミなどを通して「自ら考え、問題 (problems that should be solved) を発見し、解析し、解法を開発し、その有効性を示す能力」を養い、社会において活躍・貢献できる提案型の人材を育成することです。

開発・生産流通工学
感情と技術・経営、加
齢と技術、人間工学



梅室博行・准教授

「人に感情を引きおこす力のある」という概念を私たちは“affective”と呼んでいます。わくわくする、持っていることが誇らしい技術は affective technology、家族や恋人と心をつないでくれるコミュニケーションは affective communication と呼ぶことができます。またそんな製品やサービスを創り出すためには、それを創る組織が顧客や従業員の感情をよく理解する affective management を行なうことが必要です。

私たちの研究室は affective という概念をさまざまなレベルで考え、技術を提案し、マネジメントを考え、世の中を affective にすることを目指しています。

研究室は多様性、すなわち様々なバックグラウンド、様々な感性、様々な夢を持った人が集まる集団を目指しています。

財務経営工学
応用統計、品質管
理、信頼性



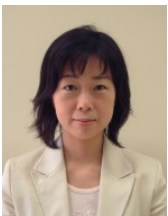
宮川雅巳・教授

専門分野は応用統計学で、特に多変量解析、実験計画法、生存時間解析について理論と応用の両面から研究を行っています。

統計学はたいへん歴史のある学問で、19世紀から実質的に使われ始め、その後は適用範囲の広がりとともに新しいモデルや手法が次々と開発されています。今日の高度情報化社会においてその傾向は一層顕著です。

統計学の研究には基礎数学と確率・統計の専門知識が不可欠です。大学院生には自らの動機付けのもとにテーマを選定し遂行してもらいます。修士課程のゴールは、既存研究の調査方法、テーマの絞込み方、結論の導き方といった研究の進め方を習得することにあると考えています。

財務経営工学
会計情報論、企業評価



永田京子・准教授

永田研究室では、大きく①経営者がどのような判断や戦略の下で会計情報を作成しているのか、②そうして作成された会計情報が市場における株価形成にどのような影響を及ぼすのか、という2つのテーマに関する研究を行っています。経営者や投資家の視点に立って深い分析を行うためには、会計やファイナンスの知識だけでなく、日頃から現実に起きている様々な経済事象に関心をもち、「なぜ？」と自分なりに問題意識を持って考えることが大切です。大きな可能性に満ち溢れる修士課程の2年間で密度の濃い時間にしましょう。

経営数理・情報
数値的最適化、OR、
金融工学



水野眞治・教授

水野研究室では、経営工学上の様々な問題を解決するために、問題の発見・モデル化と数理的アプローチによるモデルの解析あるいは解法について主に研究しています。対象とする問題には、最適化問題、スケジューリング問題、ファイナンス問題、意思決定問題などがあります。

これらの問題をオペレーションズ・リサーチ、最適化、金融工学、統計科学などの道具を使い解決しています。研究室には、目的意識を持ち、やる気のある学生が集まっています。学生生活をエンジョイしながらも、やるべきときにはきちんとやれることが大切であると毎日頃より思っています。

経営数理・情報
OR、数理計画法、
データマイニング



中田和秀・准教授

本研究室では、オペレーションズ・リサーチやデータマイニングについて研究をしています。計算機性能の向上や最適化アルゴリズムの発展により、現在では相当大規模な数理モデルの解析が可能となってきました。しかしながら、より精密な解析を行いたいという欲求は尽きることはありません。それらを実現するため、革新的な最適化法の発見やソフトウェアの開発に力を入れています。

研究室の学生には、数理的な思考力を鍛えることにより、物事の抽象化や論理的な表現法を身に付けてもらいたいと思っています。また、根本的な動作原理を理解した上で、計算機を使いこなせるような人材を育てたいと考えています。

経営数理・情報
システム理論、情
報システム学



飯島淳一・教授

専門分野は、情報システム学とシステム論。特に、ビジネスアーキテクチャと統合した情報システム開発方法論、モバイルコマース、ビジネスにおける有効なIT投資のあり方、などに関心があります。

人生哲学は、“A rolling stone gathers no moss.”です。

また、研究室での教育方針としては、現代数学や記号論理学をゼミを通じて身につけることにより、形式化の能力を養い、ゼミ、コンパなどにおける論議を通じて、コミュニケーション能力を養い、さらに、研究室生活全般を通じて、「あたり前のことが、あたり前にできるひと」になっていただきたいと考えています。

経営数理・情報
組織論, 戦略論, 知
識・情報システム



妹尾 大・准教授

研究分野は、経営組織論、経営戦略論、知識・情報システムです。個人と組織の動的プロセスについての理論構築を目指しています。具体的な研究プロジェクトは、知識創造支援ワークスタイルとワークプレイス（クリエイティブオフィス）の分析、知識継承リーダーシップの調査、顧客コミュニティ戦略の調査、ナレッジマネジメントツールの評価手法開発、などです。

研究室活動の目標は、経営基礎知識の習得、課題発見能力の向上、読解力と表現力の向上、多様な視点の獲得、共同作業の体験、研究方法論の習得、の6点です。研究室メンバーが重んじる価値は、一手を抜かず一生懸命やる、勇気をもって挑戦する、互いに尊重しあう、の3点です。

技術構造分析
科学史, 化学史, 比
較科学史, 環境科学
史

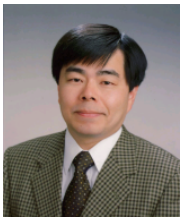


梶 雅範・准教授

本研究室では、科学史を研究対象としています。科学史は、自然科学が歴史的にどのようにつくられてきたかを明らかにしようとする学問分野です。自然科学の学説的な内容の発展・展開を調べるだけでなく、自然科学やその研究者（科学者）がその時代の社会とどのような関係をもっていたのかを解明することを通して、現代社会における自然科学のあり方を考えることを目指します。

私自身は、ロシアや日本の19世紀・20世紀の化学という分野の歴史を研究しています。現代社会における科学者のあり方、化学物質と現代社会、環境問題などにも関心があります。現代における科学のあり方について、考えたい・調べたい・議論したいという学生を歓迎します。

技術構造分析
科学技術社会（S T
S）論, 科学/技術史



中島秀人・教授

私の個人の研究は、17世紀の科学技術史、具体的にはロバート・フック（英国の科学者）の歴史的な位置づけの解明などを対象としています。

研究室では、科学技術史に限らず、社会の中での科学技術というより幅広い観点から、院生とともに研究活動を行っています。現在在籍する院生たちは、イタリアの女性科学者、日本の理科教育史、マイケル・ポラニーの自然科学研究といったものを研究テーマとしています。多様な関心を持つ人々が集い、切磋琢磨できる楽しい研究室づくりを心がけています。

技術構造分析
論理システム論,
科学方法論



藁谷敏晴・教授

本研究室の研究領域は、主として数学的手法を使った論理学の研究です。したがって、数理論理学が主たる研究領域となります。論理の数学的基礎を探究するとき、必要となるのは1) 技術的側面と2) 技術的側面を支える理論的側面の二側面です。この二つの側面は密接に関係しており、技術的側面から見た論理が単なる計算技術体系以上のものになるためには、理論的側面からの論理の考察が不可欠となります。その際に必要となるのは技術的側面の基礎を研究するという態度です。したがって、哲学的考察が技術的能力の展開のために要求されます。こうした技術と理論に対する態度は一般に科学方法論と呼ばれている分野と密接に関連しており、したがって、本研究室では主として数理論理学の研究を行いますが、それを科学方法論的立場から、哲学的反省を以って行っています。

専攻教員の研究分野にはどのようなものがあるのでしょうか

指導教員		講座／研究科	主な研究分野	
准教授	鍾 淑玲	開発・生産流通工学	マーケティング, 流通	
教授	圓川隆夫		生産管理, 品質管理, ロジスティクス	
准教授	鈴木定省		生産管理, ロジスティクス	
教授	伊藤謙治		人間工学, 安全工学, 認知工学	
准教授	青木洋貴		人間工学, 認知工学	
教授	村木正昭		プロセス管理, プロセス工学	
准教授	梅室博行		感情と技術・経営, 加齢と技術, 人間工学	
教授	宮川雅巳	財務経営工学	応用統計, 品質管理, 信頼性	
准教授	永田京子		会計情報論, 企業評価	
教授	水野眞治	経営数理・情報	数値的最適化, OR, 金融工学	
准教授	中田和秀		OR, 数理計画法, データマイニング	
教授	飯島淳一		システム理論, 情報システム学	
准教授	妹尾 大		組織論, 戦略論, 知識・情報システム	
教授	中島秀人	技術構造分析	科学技術社会 (STS) 論, 科学/技術史	
准教授	梶 雅範		科学史, 化学史, 比較科学史, 環境科学史	
教授	藁谷敏晴		論理システム論, 科学方法論	
☆	教授	佐伯とも子	知的財産マネジメント 分野/イノベーション マネジメント研究科	知的財産戦略, ライフサイエンス知財
☆	教授	田中義敏		企業経営と知的財産, 国際知的財産
* ☆	教授	比嘉邦彦	イノベーション マネジメント研究科	経営情報システム, データベース, テレワーク
* ☆	教授	二宮祥一		数理ファイナンス, 確率数値解析
* ☆	教授	宮崎久美子		科学技術政策, 技術経営戦略

*のついている教員は、指導教員として志望することはできません。

☆ " , イノベーションマネジメント研究科所属の兼任教員です。

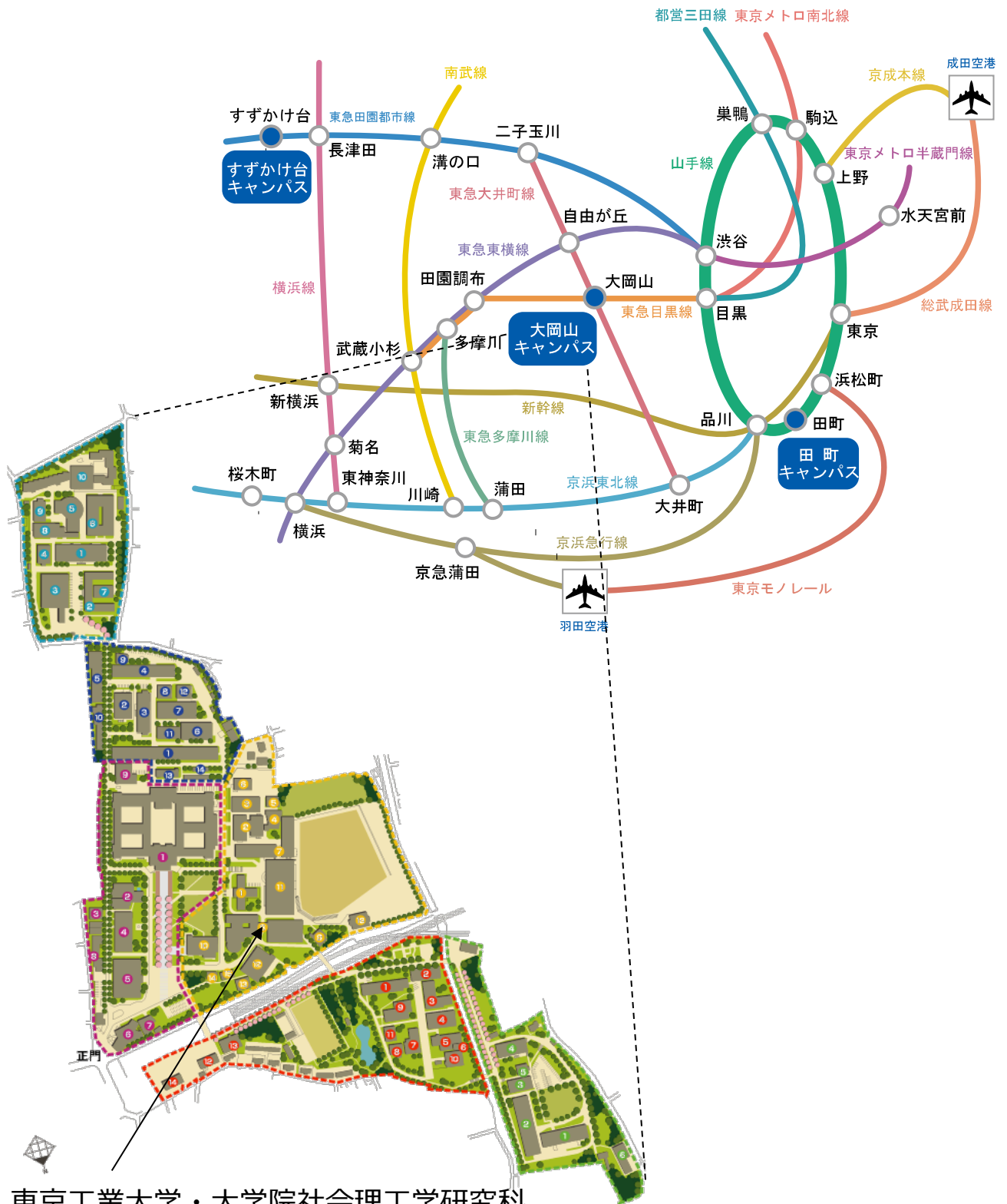
修士論文や博士論文には、どのようなテーマがあるのでしょうか

平成23年3月修了博士論文の題目

- Toward Class Diagram Algebra
- Ontological Research on Organizational Knowledge Creation Management
- A Study on Implementation, System and Service for Applying Digital Watermark Technology

平成23年3月修了修士論文の題目

- 0-1整数変数を含む非凸2次最適化問題に対する面的縮小を用いた非負半正定値緩和
- 2次多項式カーネルを用いたSVMに対する近似劣勾配法を利用した解法の提案
- 株主優待に関する実証分析
- 職場のネットワークとフリーライダーに関する研究
- ファンダメンタル・インデックスの超過リターン源泉の特定
- ソーシャルメディア活用戦略選定に関する一考察
- 損害保険会社と代理店の関係性に関する一考察
- 機能充足が製品評価に及ぼす影響へのプロスペクト理論の適用
- キャッチコピーによる広告認知への影響とその印象・効果評価構造の構築
- シナリオツリー型多期間確率計画問題に対する構造を利用した内点法アルゴリズムの提案
- 従業員が組織市民行動を引き起こす促進・阻害要因を探る研究
- 「意図」に着目したプロセスモデルへのフレキシビリティの導入：フレキシビリティを有する医療プロセスの提案と評価
- 容量制約付き枝巡回回路問題に対するハイブリッドアントアルゴリズム
- IPO時の株式売出にともなうアンダープライシング現象の解明
- 知名集合・非知名集合を考慮した購買モデルにおける広告チャネル戦略の影響について
- 業務プロセスマップに基づく透析医療マネジメントの特徴とスタッフ技能評価
- 顧客満足度とシェアの関係メカニズムについての研究
- 卸売-小売間の関係にCSR活動が与える影響分析：食品流通業界において
- 投資家の期待形成プロセスとバリュー株効果の関連性
- 国内海運における積替えを考慮したコンテナ定期船のスケジューリング
- コーポレートブランド価値評価モデルに関する分析
- 日産自動車のインドにおける車両輸送最適化
- 製品の知覚価値の体系化とサイコグラフィック要因が製品の価値の知覚に与える影響
- ゲートキーパー、トランスフォーマーが研究開発組織における研究活動の多様性に与える影響に関する一考察
- 企業の実体的利益調整方法の選好とその影響
- 配当政策開始の決定要因とその影響
- 日本企業の海外直接投資に関する実証分析
- 第三者への影響を考慮した互惠関係が無い利他行動の社会への影響の分析
- 特許文献情報を媒介にした技術伝搬ダイナミズムに関する分析
- 眼球運動解析を用いた視覚検査プロセス・技能・認知覚醒度の評価方法
- サービス産業のCSに関する研究：国民文化と産業構造の影響について



東京工業大学・大学院社会理工学研究科
経営工学専攻

<http://www.me.titech.ac.jp>

平成23年度専攻長

村木 正昭

muraki.m.aa@m.titech.ac.jp

平成23年度専攻幹事

梅室 博行

umemuro.h.aa@m.titech.ac.jp